Yokohama Tire Manufacturing Virginia, LLC (YTMV) CSRレポート

事業内容： 乗用車およびライトトラックタイヤの生産
敷地面積： 243,000m²
従業員数： 795名（2018年1月）
所 在 地： 1500 Indiana Street, Salem, VA 24153

相談・苦情などの受付窓口：
TEL：800-433-9851
Director, EHS. Neil Dalton
メールアドレス：Neil.Dalton@yokohamatire.com

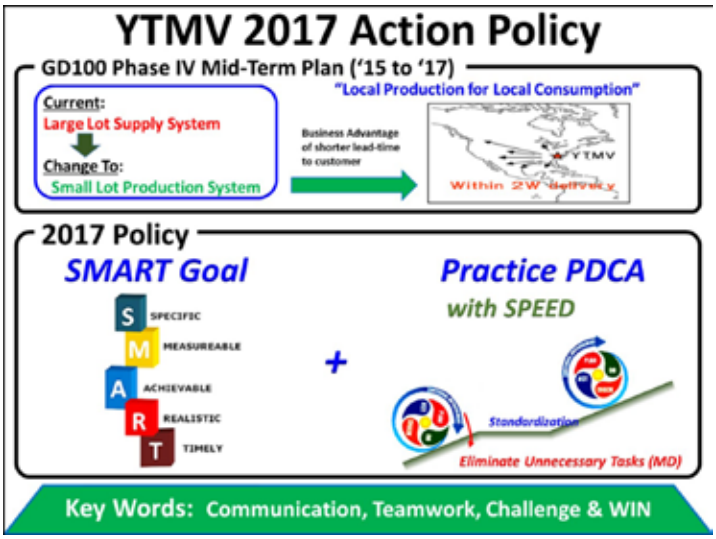
社長ご挨拶

村上　徹郎

ヨコハマタイヤマニュファクチャリングバージニア（YTMV）は、地元のコミュニティだけでなく、全世界のコミュニティに貢献にするため、信頼を得るCSRの基盤を構築し続けます。
そのため、YRCの基本理念であるCSR方針に基づき、ISO14001：2015改訂に伴う新たな環境管理システム、そしてコンプライアンス順守の要求事項に対して継続的な改善を進めながら、北米の重要な生産拠点としての地位を確立しています。すべての人と周囲の環境を守ることがYTMVの使命です。
当社は、持続可能な事業に焦点を当てて、エネルギーを削減し、廃棄物を最小限に抑え、地域、州、および連邦規制を完全に順守する取り組みを推進しています。2017年度も発生する廃棄物総量の削減と共に、年間を通じてゼロエミッションを継続しました。
2018年にヨコハマ—セーラム工場は50周年を迎えますが、YTMVの未来を確かなものにするためには、環境との調和を図り、持続可能な社会に貢献することが私たちの目標であり、責任です。
引き続き、YRC基本理念に沿って、環境と天然資源を保護しながら、事業と製品の将来の成長のための持続可能な基盤を構築し続けます。

組織統治

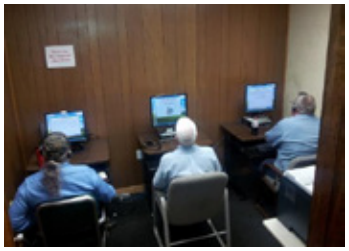
当社は2017年度の行動計画として「SMARTゴール」を設定しました。
これまでの通り、コミュニケーションとチームワークを大切にして、目標達成に向けた取り組みを行います。
2018年、当社は生物多様性保全活動を強化し、地球温暖化ガスの排出を最小限に抑えることを重点に置いて、地球環境の保護と人々の幸せに貢献します。



2017年度の方針

人権

当社は、非倫理的な行動やハラスメントを防止するために、すべての従業員が人権保護を定めた横浜ゴムの行動指針の教育訓練を受けています。
ここでは、コンピューターを使った学習授業（Computer Based Learning Lessons：CB2L's）を取り入れています。
授業は方針を解説するミニクイズからなる複数のスライドで構成されており、各セクションの最後には理解度テストを行います。
すべての従業員は80以上のテストに合格しなければなりません。
当社には、すべての給与従業員に対する「オープンドア」ポリシーがあります。
内部の苦情処理手続きが確立、解放されており、従業員が職場で不公正に合っていると判断した場合に異議を唱え、解決する機会を提供しています。
労働組合とは、州または連邦法で定められている人種、宗教、肌の色、性別、年齢、国籍などについて、差別なく労働契約に対応することで合意しています。


コンピューターでの学習授業

労働慣行

平等な雇用機会

当社で働くことを望む方々に対して、同等の雇用機会を提供することを約束します。当社は、すべての雇用条件において平等な雇用機会（Equal Employment Opportunity（EEO））方針の履行を保証しています。
2017年には、人事部で、すべての管理者および従業員に対して、「雇用法」に関するインタビューでの訓練を実施しました。
訓練では、保証された内容（人種、性別、宗教、年齢など）、身体的および精神的障害への対応、宿泊施設などの利用について説明し、理解を深めてもらいました。
より効果的な面接となるための意見を伺い、よい関係を構築することにつなげていきます。

安全衛生

当社の安全管理部は従業員の健康と安全を守ることが第一目標であることを2017年度も明確にし、活動しています。このことは、毎週のリスク評価、部門管理者とのミーティング、多くの監査プログラムへの積極的な取り組みに現れています。
当社従業員のスキルを向上させることが安全で健康的な職場環境をつくる上で重要です。いくつかのスキル訓練を紹介します。

・新規従業員訓練と定期フォロー
・職場移動時の訓練
・外部業者への訓練
・災害時の緊急連絡訓練
・災害時の緊急搬送訓練
・PIT（動力車）訓練
・ロックアウト・タグアウト訓練
・ＯＳＨＡ規定30時間訓練
・環境管理訓練
・毎日始業時のＫＹ（危険予知）訓練

これらの教育訓練に加えて、YTMVの各部門と各工程にあるすべての装置・設備に対して、保護・安全装置が設置され、常に改善を進めています。個人用保護具（PPE）は、すべての従業員が常時利用可能となっており、着用を推進・管理しています。事故が発生した場合には、徹底的な調査、各種対応策の立案とその実施を行い、そのフォローアップを行っていきます。
仕事を終えた後に、私たち従業員が安全に帰宅することよりも大切なことはありません。

緊急対応

現場で発生するさまざまな医療的な緊急事態に対応するため、24時間緊急車両が使用できるようになっています。また、27名からなる高度に熟練した「緊急救助隊」を組織しています。このチームのメンバーは、狭い空間や高所からの救助など、さまざまな状況に対応できるよう訓練を受けています。火災や緊急時の対応訓練を定期的に実施し、全従業員の意識啓発を行っています。以下は、2017年の緊急対応訓練の写真です。

消火ホース訓練

消火訓練

年次緊各種訓練の様子

環境

水系のタイヤ修理用塗料

2016年1月、YTMVはスプレーガンを使用した溶剤系塗料の使用を中止し、塗装ブラシによる方式の塗料に変更し、従業員への火災や衝撃の危険性を減らしました。しかし、当時この変更は、タイヤの外観を悪化させ、タイヤ修理用塗料として理想的な方法ではありませんでした。
その後、タイヤ修理へのスムーズな適用と外観のためにスプレーガンでスプレーすることができる水系の修理用塗料を開発し、火災の危険性を排除し、プラントのVOC排出を低減し、従業員に清潔な適用を提供するための調査を行いました。全ての関係者のニーズに合った適切な水系の修理用塗料を見つけるために、多くの試行錯誤が試みられました。
そして、水系修理用塗料は、2017年12月に承認され、生産に使用されました。YTMVは、YRCグループの水系タイヤ修理用塗料を生産に導入した最初の生産工場です。このプロジェクトは、他の横浜タイヤグループに水平展開する絶好のチャンスとなりました。

千年の杜プロジェクト

2017年の秋、当社は千年の杜の植樹活動を、「オンサイト（事業敷地内）」から「オフサイト（事業敷地外）」へ変更しました。 10月20日、当社従業員は、セーラム市と地元の小学校の5年生と協力して1,000本の植樹を寄付し、小学校での「千年の杜」の立ち上げを支援しました。

環境データ

項　目		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
廃棄物発生量（t）		2,090	1,765	1,604	1,332	1,307
埋立率（%）		20.7	2.6	1.4	0.0	0.0
埋立量（t）		432	46	23	0.0	0.0
エネルギー使用量（原油換算：kl）	電力	19,939	20,124	19,025	16,790	16,728
	燃料	10,958	10,340	9,792	8,783	8,915
	合計	30,897	30,464	28,817	25,574	25,643
温室効果ガス排出量（千t-CO_2）		64.5	63.7	60.3	53.5	49.1
水使用量（千m^3）		108	165	143	131.7	135.8

※年度：1月～12月
※温室効果ガス排出量の算定は、日本国の環境省・経済産業省発行の温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルを使用しました。2015年度以降、海外拠点の算定では、GHGプロトコルを使用しました。

排水管理

当社は排水管理を徹底しており、6年連続で法的基準を順守しています。下の表は、法規で定められた四半期ごとにサンプリングした排水中の含有成分のリストを示しています。
毎月、自動取水装置でサンプリングし、測定を行います。規制値以下に自主警報値を設定し、測定値が超過した場合はすぐに対策を取っています。
これらの成果を踏まえ、当社の水道局から評価を得て、バージニア水環境協議会より「プラチナ産業廃棄物対応賞」の受賞受けました。

自主サンプリング用に購入したサンプリング装置

生物多様性保全活動

生物多様性活動を改善し、周囲の生態系および環境に外部から貢献するため、当社は2015年から2つの生物多様性保全活動を実施し、2017年も継続実施しました。

ブルーバード保全活動

バージニア州ブルーバード協会は1996年に設立されました。目的は、ブルーバードが子育てする場所を提供し、種の減少を抑えることです。当社は、2015年の第3四半期から、この活動に参加しています。
巣箱を敷地内に5箱設置し、ブルーバードの巣の様子を4～9月の間3～4回観察しました。
雀の攻撃を受けることがありましたが、5箱全てでヒナが育ちました。何十年も見られなかったブルーバードが2015年以降YTMVの敷地内で繁殖しています。

巣箱の観察の様子

環境

河川の水質監視プログラム

当社から下流を流れるロアノーク川沿いの水質を監視し、年に2～4回ごとにデータを収集しています。この活動はバージニア州と提携しており、地元の河川の生態系の健全性の情報を提供することで、必要なバージニア州の水域を復元するための手立てを取ることができます。
調査場所は、当社が排水している雨水の水質がロアノーク川の水質に影響を及ぼす可能性のある場所を基準として指定された領域（約1マイル）で1回／四半期の調査を監視チームが行っています。

水質調査

環境への取り組み

バージニア環境優秀プログラム（VEEP）

VEEPは、バージニア州内の施設が法的要件を超えて環境改善を進めることを促す、州政府が主催するプログラムです。 当社は、2017年の第4四半期にVEEPプログラムでE4のステータスに更新されました。
E4のステータス（特別環境エンタープライズ）は、このプログラムで企業が受けることができる最高レベルのものです。 E4ステータスを取得するメリットとして、地域社会の認知度、許可手数料の削減、規制上のインセンティブなどがあります。

環境表彰

環境優秀賞

2017年3月3日、当社は、公害防止、廃棄物削減、および操業許可のための規制への準拠を全て満足していることを6年間継続実施したことから、「環境優良プラチナ賞」を受賞しました。 これはバージニア州ロアノークにあるセーラム市とウェスタンバージニア水道局より、この賞にノミネートされ、受賞しました。

公正な事業慣行

原材料の調達

当社の原材料や副資材に紛争鉱物の使用がないか、幅広く継続的に調査を行っています。その結果、当社の全ての原材料は、紛争鉱物フリー（タンタル（Ta）、スズ（Sn）、金（Au）、そしてタングステン（W）を含まない）となっています。

化学物質管理

工場内で使用するすべての材料は、ヨコハマの禁止化学物質リストを順守し、グリーン調達ガイドラインに適合しています。
各材料の安全データシート（SDS）は継続的に維持しており、Webシステム（Sitehawk）にて更新しています。

消費者課題

お客さまの訪問

当社はお客さまの訪問をいつでも歓迎しており、受け入れ体制は万全です。

コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

地域との交流・ボランティア活動

・セーラム市商工会議所の凧まつり

2017年4月15日、地元商工会議所が主催する「Blue Ridge Kite Festival」に参加しました。 このイベントは、1万名を超える人が集まり、ヨコハマタイヤをアピールする絶好の機会となりました。

・河川流域の清掃活動

2017年10月4日、当社はクリーンバレー協議会—地域の河川流域クーンアップに8年連続で参加しました。ロアノーク渓谷の周辺を自然豊かに保つため、重点エリアを選び、水の中や周りのごみの収集を行いました。毎年、ロアノーク川の1マイル区間を選択して清掃を行っていることから、年々大きく改善していることが分かりました。

地域への基金募金

2017年度も引き続き、弊社と従業員は地元の慈善団体や組織へ寄付を行いました。

・アップルリッジファーム

（恵まれない子どもたちへの支援）

・ユナイテッド・ウェイ

（ロアノーク地区の教育、家庭、健康、環境への支援）

・アメリカ赤十字

（ハリケーン被災地への支援）